

2022年4月16日

関係者各位

一般社団法人 日本ラクロス協会 事務局

**新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた公式戦の運営基本方針
(2022年 第1版)**

これまでの新型コロナウイルス感染症への対応・各種対策を踏まえ、2022年度の公式戦実施に向け、「運営基本方針」「公式戦会場における対応・制限」「観客・来場の制限」を以下のとおり定めました。

コロナ禍における公式戦開催の実績・知見も蓄積され、感染動向が悪化した場合でもある程度柔軟に対応できるよう各連盟規約・リーグ戦規約も改正されましたが、これからは下記内容を踏まえ、現場の各種マニュアルへの反映等を行い、準備をしていくこととなります。

なお、今後の状況の変化等で記載内容を変更する場合がございます。公式戦が極力安全に、かつ、円滑に実施できるよう、一人一人がより一層の注意と節度ある行動を選び、関係者全員で工夫しながら、今年も取り組んでいきたいと思います。

公式戦開催にむけての大前提：

- ・政府や各自治体による定め等を逐次確認する。
- ・大会毎に原則開催1カ月前までに開催可否および時期を順次判断する。
- ・各大会の直前又は期間中でも、状況次第で中断、形式変更、中止できるよう備えておく。
- ・各地区リーグ戦、新人戦、フレッシュマンズキャンプ、および全国大会の開催を目指す。
- ・ラクロスの現場を更に充実させる為に、前述以外の公式戦も積極検討する。
- ・観客上限に関しては一律の制限を設けず、行政・施設の定めを都度確認し、各地区・大会ごとに運営リソースを踏まえて定める。

運営基本方針：

<p>大会開催基準</p>	<p>各大会実施にあたっては、各地区で下記整理し、事務局長および感染症対策担当（Bravery Forward タスクフォース）に報告する。必要に応じて、理事会で実施可否を審議する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 感染症発生動向（行政、各施設、各学校の定め等） ・ チーム活動状況及び大会参加意思状況 ・ 大会予定形式 ・ 大会予算素案 ・ 会場確保状況 ・ 審判員確保状況 ・ その他運営準備状況 等
<p>大会前準備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・（会議等について）原則オンラインで対応する。 ・ 活動の目的と特性に鑑み、効果的・効率的と認められる場合は、対面での活動も検討可とする。対面活動を行う場合、出席者の参加意思を尊重し、オンライン参加も可能な方法で開催する。
<p>対面での 打ち合わせ時 の留意点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発熱や体調不良がみられる者は出席させないなど、体調の管理を行う。 ・ 不織布マスクの着用を徹底する。 ・ ソーシャルディスタンスを確保するため、会議室等を使用する場合は隣や対面への着席を避けられるよう、施設キャパシティを考慮する。 ・ 感染症発生時に備え、参加者の出欠と連絡先の把握を行う。 ・ 換気を徹底する。 ・ こまめな手洗い、手指の消毒を行う。 ・ 参加者人数を考慮し、管理できる規模で運営する。 ・ 行政や利用施設の方針を確認し、それに従う。
<p>大会参加意思</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ チームは参加申請に当たり、構成員各個人の参加意思を最大限尊重する。
<p>大会中断 ・ 中止基準</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当該エリア内での行政の判断等により、継続困難となった場合には中断する。 ・ 他、大会主管、理事会、事務局の判断により、中断・中止することがある。
<p>試合延期</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染者または濃厚接触者の発生や、所属学校の通達等、感染症の影響で試合参加が困難となった場合には、可能な限り延期・再試合を調整する。 <p>※詳細は各リーグ戦規約を参照すること。</p>
<p>遠距離移動 ・ 宿泊</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ チーム活動として遠距離移動、宿泊が発生する場合は、チームとして自主的に感染症対策を定め、留意する。
<p>感染者発生時 の対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大会期間中以外でも、感染者が発生した場合は所定フォームで報告する。 ・ 特に大会期間中に感染者が発生した場合は、大会主管にも報告する。 <p>※報告方法は別途定めるフローに従うこと。</p>

規約・規則 の例外対応	<ul style="list-style-type: none"> ・各部門は感染動向悪化の状況でも対応できるよう規約・規則を整備する。 ・新型コロナウイルス感染症に起因する事象により、規約・規則の適合が困難である場合、「新型コロナ特措」（別添）に従い、暫定的に緩和することがある。
----------------	--

公式戦会場における対応・制限：

対象	想定される 場面・事項	対応策
チーム備品	【重要】 ドリンク	<ul style="list-style-type: none"> ・チームでの共有使用を禁止とし、個人管理を徹底する。
選手用具	【重要】 マウスピース	<ul style="list-style-type: none"> ・一旦装着後は、途中での着脱を不可とする。 ・使用後は速やかに洗い、ケースにしまう。
選手用具	マスク	<ul style="list-style-type: none"> ・軽度のアップ（体操、ストレッチ等）まで着用する。 ・運動強度の高いアップ～試合終了は着用不要とする。 ・試合後は速やかに着用する。 <p><以下、マスク着脱についての補足></p> <ul style="list-style-type: none"> ・できる限り着脱回数を減らす。 ・外したら、すぐに個人管理することを徹底する。 （処分する場合でも持ち帰ること。） ・個人管理徹底の為、外すタイミングはチームで統一する。 （例：メットオンやアイガード着用のタイミングを活用） ・試合後は、新しいマスクの使用を強く推奨する。 （再度利用する場合は、マスクケースを利用すること。）
スタッフ ・コーチ	マスク	<ul style="list-style-type: none"> ・原則、常時着用とする。（水分補給時を除く） ※ 但し、熱中症の危険性が非常に高いと判断される場合には、周囲への飛沫等に最大限配慮する前提で着用しないことも認める。
ベンチ	ベンチエリア からの大声	<ul style="list-style-type: none"> ・制限しないが、周囲への飛沫等に最大限配慮する。 （他に運営からの指示があれば、それに従う。）
試合中・前後	密集（ハドル・円陣・ベンチ待機） ／接触（ハグ・ハイタッチ・握手）	<ul style="list-style-type: none"> ・各チームにて感染症対策を検討し、適切に行動する。 ・避けられる体への接触は極力避ける。
オフィシャル	マスク	<ul style="list-style-type: none"> ・オフィシャルテーブル：常時着用。（水分補給時を除く） ・ポールパーソン：持ち場についている時のみ、外すことができる。それ以外は常時着用する。

オフィシャル	試合前の メンバーチェック	・オフィシャル側はマスク着用の上、2 m以上の距離を取って実施する。(チェックを受ける選手側はマスク不要)
派遣審判員	【女子のみ】 試合前スティック チェック	・2022年度は試合前スティックチェックを行う。
派遣審判員	ホイッスル	・通常ホイッスルの使用を可とする。 (電子ホイッスルも利用可。)
派遣審判員	マスク	・試合直前まで着用する。 ・試合前整列時～試合中は不要とする。 ・試合後は速やかに着用する。 <以下、マスク着脱についての補足> ・できる限り着脱回数を減らす。 ・外したら、すぐに個人管理することを徹底する。 (処分する場合でも持ち帰ること。) ・試合後は、新しいマスクの使用を強く推奨する。 (再度利用する場合は、マスクケースを利用すること。)
観客	大声での応援	・禁止とする。
観客	マスク	・常時着用とする。(水分補給時を除く)
観客	飲食	・施設、運営により禁止されている場合は、それに従う。
観客	観戦場所	・運営の指示に従う。 ・来場グループ単位で距離を確保し、できる限り交錯がないようにする。
その他来場者	マスク	・常時着用とする。(水分補給時を除く)

観客・来場の制限

前提	・2021年度の「通常試合」「集客試合」「有料試合」の区分は廃止する。
一般観客	<ul style="list-style-type: none"> ・行政および施設による定め、および試合会場の動線・設備等を確認した上で、一般観客の来場可否を判断する。 ・一般観客が来場可能な試合においては、下記対応をする。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 運営が管理できる範囲で来場定員(観客上限数)を設定する。 ➢ 来場者は試合毎に定められた所定の方法で事前申込を行う。 ➢ 試合当日は受付設置等により、全来場者の把握を行う。 ・一般観客が来場不可の試合については、会場名の事前告知を行わない。
試合チームの 構成員	・来場する全員がわかるようメンバーリストに明示し、ゲームディレクター(GD)に提出する。

	<p>(メンバーリストの記載・提出は、マニュアルや運営指示に従うこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームとして活動チェックシートをGDに提出する。 ・ベンチ外の観戦者は、所属チームがわかるように、揃いのチームウェアを着用する。
試合チームの関係者・応援 (構成員以外)	<ul style="list-style-type: none"> ・一般観客の来場可の試合であれば、一般観客と同様に来場する。 ・一般観客の来場不可の試合であれば、チームにおいて入退場管理を行う。
オフィシャル チーム	<ul style="list-style-type: none"> ・来場する全員がわかるようメンバーリストに明示し、GDに提出する。 (メンバーリストの記載・提出は、マニュアルや運営指示に従うこと) ・チームとして活動チェックシート(1枚)をGDに提出する。 ・所属チームがわかるように、揃いのチームウェアを着用する。
運営者、他	<p>GDが事前把握している関係者のみ来場可とする。以下例。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試合に派遣された審判員(併走派遣、育成派遣、査定派遣を含む) ・広報部が定めた方法での取材申請が完了している方 ・その他、事前に許可を得た日本ラクロス協会関係者

【参考資料】

(別紙1) 新型コロナウイルス対策特別措置(新型コロナ特措)の継続について

(別紙2) 「活動チェックリスト」の運用について(2022年度版)

(別紙3) 新型コロナウイルス感染者発生時の対応フロー(2022年度版)

(別紙1)

2022年3月26日

関係者各位

一般社団法人日本ラクロス協会 理事会

新型コロナウイルス対策特別措置（新型コロナ特措）の継続について

一般社団法人日本ラクロス協会は、新型コロナウイルス感染症の発生以降、事態を注視しながら、協会方針を発表・更新して参りました。

コロナ禍における行事主催・運営にあたっての実績・知見も蓄積され、感染動向が悪化した場合でも柔軟に対応できるよう各種規約・規則等への反映も進めておりますが、依然として突発的な対応が必要となる場面も起こり得ると捉え、暫定的緩和措置である「新型コロナ特措」（2020年4月18日施行、2021年4月17日継続）を以下内容の通り継続することと致します。尚、今後も必要に応じて随時追加見直しや判断等を取る場合があることをご理解下さい。

1. 連盟・リーグ戦・諸大会・審判員・指導員等、競技団体・会員対象に定められている規約・規則等で、新型コロナウイルス感染症に起因する活動停止・自粛要請等により、その適合が困難な状況にある場合は、本来目的の趣旨を逸脱しない範囲で、また運営に多大な影響を及ぼさない範囲で、下記内容を暫定的に緩和する事を認める。
 - ① 申請等 手続き提出期間・締め切り期限
 - ② 提出必要書類等
 - ③ 参加条件・要件（人数、等）
 - ④ 資格要件（試験・講習・実習参加要件、等）
 - ⑤ その他（行事運営方法・必要備品、等）
2. 上記の対応が必要な場合
連盟本部、各大会運営本部、審判部本部、JLAcademy等の管理責任部門は、現行規約・規則等を変更せず「新型コロナ特措」として、適切な緩和策詳細を定めるものとする。
3. 当該「新型コロナ特措」は、理事会に適時報告の上、関係者に告知通報を行い実施適用するものとする。
4. 本特別措置の適用期間は2023年3月31日までとする。但し、今後の状況次第で適宜見直しを行うものとする。

以上

「活動チェックリスト」の運用について(2022年度版)

一般社団法人日本ラクロス協会が主催する大会に来場するチーム・団体・部署は、この用紙を印刷して持参し、下記のチェックリストを用いて体調のチェックを行い、提出してください。

なお、該当する症状のある方は、来場をお断りしますので、ご承知おきください。

- 実施単位：各チーム・団体・部署ごと（審判は4名で1枚）
- 実施責任者：各チーム・団体・部署における当日の代表者。
（1人で来場の場合は、来場者本人とします。例：強化部から1名が派遣されている等）
- チェックタイミング：来場後、速やかにチェックを実施する。
- 提出タイミング：ゲームディレクターへの到着コール（報告）時。
- 保管方法：ゲームディレクターがオフィシャルシートとともに保管する。
- チェック方法：下記リストの症状有無や状況について確認する。

<活動チェックリスト>

—症状がないことの確認—

- 37.5度以上の発熱はないこと。
- せき、のどの痛み、寒気など風邪の諸症状はないこと。
- だるさ（けんたい感）、息苦しさ（呼吸困難）、吐き気はないこと。
- ケガやトレーニング由来ではない筋肉や関節の痛みはないこと。
- 嗅覚や味覚の異常はないこと。
- 体が重く感じる、疲れやすい等の症状がないこと。

—新型コロナウイルスへの感染（疑い含む）・濃厚接触に関する確認—

- 感染を疑う症状があった場合、自治体のフローによって待機不要と判断されていること。
- 感染後の療養期間 または 濃厚接触後の待機（観察）期間ではないこと。

—感染症予防の準備ができていることの確認—

- 手指衛生用品を持参している。
- マスクを持参している。
- 自分専用のボトルをもってきている。

一般社団法人日本ラクロス協会 御中

当チーム・団体・部署に所属の来場者全員が、定められた方法で運営責任者に来場申請していること、および、上記のチェックを全て満たしていることをご報告いたします。
また、運営責任者の指示に従い、感染症の予防に努めます。

_____年_____月_____日（_____）

会場名_____

チーム・団体・部署名_____

代表者氏名_____

関係者各位

一般社団法人 日本ラクロス協会 事務局

新型コロナウイルス感染者発生時の対応フロー (2022年度版)

日本ラクロス協会（以下 JLA）では、新型コロナウイルス感染症については、行政によって積極的に濃厚接触者の判断を行う状況ではなくなっていること、療養期間／待機期間の考え方が刻々とアップデートされていることから、感染者・濃厚接触者発生時の対応を下記の通り更新しました。

主なポイント

- ・濃厚接触者の特定について保健所や大学等の公的な判断を得られない場合は、チームにおいて、その時点の自治体の基準を確認し、判断する。
- ・療養期間／待機期間は行政の要請する最新の期間を適宜適用する。
- ・感染事例の収集は、フォームにて実施する。

対応フロー

	本人	チーム
① 感染者・陽性者 (みなし陽性者含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・定められた療養期間に従う。 (相談所／保健所の指示等があればそれに従う) 	<ul style="list-style-type: none"> ・チームとして濃厚接触の範囲を確認する。 ・濃厚接触者であると保健所等の公的機関が判断した方⇒②へ ・濃厚接触者の公的な定義に該当する可能性がある方⇒②へ ・明らかに濃厚接触でない方⇒活動可
② 濃厚接触者および その可能性がある方 ② 感染を疑う症状で待機 判断の方	<ul style="list-style-type: none"> ・定められた待機期間に従う。 (相談所／保健所の指示等があればそれに従う) ・受診／検査等の結果で陽性⇒①へ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・②の方と接触した方： ⇒②の方の待機期間が終わるまでは、体調に留意し慎重に行動する。特に、新たに濃厚接触となる場面を作らないようにする。 ・明らかに濃厚接触でない方⇒活動可
③ 感染を疑う症状が ある方	<ul style="list-style-type: none"> ・自治体のフローに従って、医療機関やコールセンター等に相談する。 ・受診／検査等の結果で陽性（みなし含む）⇒①へ ・待機指示を受けた⇒②へ ・受診／検査等の結果で待機不要となった⇒活動可。 	<ul style="list-style-type: none"> ・③の方と接触した方： ⇒③の方の状況の把握し、体調に留意し慎重に行動する。 ・明らかに濃厚接触でない方⇒活動可。

感染発生時の報告のお願い

(1) JLA 主催行事（リーグ戦等）の開催期間に関わらず、**報告フォームへの入力をお願いします。**

報告フォームはラクロスコミュニティにおける感染状況や事例を集約することで、コミュニティにおける感染状況の把握と、対策の立案や注意喚起を行うための事例収集を目的に設定しています。**回答項目は全て任意**で、一部を記入しなくても送信できます。フォームの閲覧者は、日本ラクロス協会事務局のコロナ対策関係者に限定されています。今後の知見蓄積のため、入力のご協力をお願いいたします。

(別紙3)

【報告フォーム】

<https://forms.gle/BwinukV4qPaFjuwm7>



(2) JLA 主催大会（リーグ戦等）の開催期間中は、以下対応をお願いします。

まず、前述の報告フォームへ入力するとともに、次の経路にて報告してください。

- ・試合チーム／オフィシャルチーム： チーム代表者から大会運営責任者
- ・審判員： 該当者となった審判員から、審判部および審判派遣担当者
- ・大会運営スタッフ： 該当者から大会運営責任者

報告を受けた後の、大会運営側による基本対応は以下の通りです。

これから実施する試合の参加予定者から、感染者（疑い含）・濃厚接触者が発生した場合

- ・オフィシャル、審判、大会運営スタッフでの欠員は代理を探す。
- ・試合チームの影響範囲および活動可能人数を確認し、チームとして試合参加が困難となった場合には、可能な限り延期・再試合を調整する。
- ※詳細は各リーグ戦規約を参照すること。

既に実施した試合の参加者から、感染者・濃厚接触者が発生した場合

- ・会場施設に、第一報として共有する。
- ・他参加者への影響可能性がある場合、影響のある範囲にいた参加者に情報共有する。
(該当者を特定できるような情報は絶対に伝えない。)
- ・情報の進展があれば、参加者および会場施設に適宜共有する。

参考情報

濃厚接触者の定義と隔離期間（東京都・2022年3月29日時点）

- ◆対象期間 : 発症日よりも2日前以降（無症状の方は検体採取日よりも2日前以降）から療養終了日まで
- ◆対象者 : 1. 患者と同居、あるいは長時間の接触（車内・航空機など）があった人
2. 適切な感染防護なしに患者を診察、看護もしくは介護した人
3. 患者の気道分泌液もしくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高い人
4. 手で触れることの出来る距離（目安1メートル）で必要な感染予防策（マスクなど）なしで15分以上接触があった人
(保健所では周辺の環境や接触の状況等個々の状況から患者の感染性を総合的に判断)
- ◆隔離期間 : 患者と最後に接触があった日（最終接触日）の翌日から7日間
但し、一定の要件を満たすことで濃厚接触者の自宅待機期間を短縮できる場合あり。
- ◆対応方法 : 不要不急の外出は自粛し、健康観察をお願いします
- ◆参照リンク : [濃厚接触者の方へ 東京都福祉保健局 \(tokyo.lg.jp\)](https://www.tokyo.lg.jp)

以上